

2018年度 人権連続講座

参加費：無料(1講座のみの参加でも可)
会場：クロスパル高槻(総合市民交流センター)
7階 第6会議室 ※JR高槻駅南口出てすぐ
定員：各回先着100名 手話通訳・要約筆記あり

様々な人権課題をやさしく学ぶ人権講座

第1回

9月28日(金) 午後2時～4時

『ヘイトスピーチ解消法 ～市民と行政の役割について～』
文 公輝さん (NPO法人多民族共生人権教育センター理事)

時代を逆行するかのような特定の人種や民族への「ヘイトスピーチ」は、なぜなくなるのか。より良い多文化共生をめざして私たちに出来ることは？



第2回

10月5日(金) 午後2時～4時

『障がい者の人権 ～みんな同じ空の下、生きている～』
向野 幾世さん (NPOかかしの会理事長)

お互いを大切に、助け合いながらみんなが心地よく暮らすためのヒントを、整肢園のケースワーカーや養護学校教員として長年多くの障がい児とかかわり、障がい者の自立支援の活動経験をもとにお話していただきます。



第3回

10月12日(金) 午後2時～4時

『部落差別解消推進法 ～地域のひとり親家庭の実態から見えるもの～』
神原 文子さん (神戸学院大学人文学部教授)

部落差別が見えにくくなっている今、ひとり親家庭が置かれている現状をふまえ、生き生きと生活するためには何が必要で、周囲はどうかかわればいいのかなどについてお話していただきます。



第4回

10月19日(金) 午後2時～4時

『子どもの人権を守る ～SNSトラブルについて～』
山口 あゆみさん (子供とネットを考える会代表)

携帯電話もスマホもPCもなくてはならない今、大人の知らないところで子ども達のネット環境は広がっています。トラブルが起きる前と起きた時に子どもを守るにはどうしたらいいのかを教えてください。



第5回

10月26日(金) 午後2時～4時

『生と死を学ぶ ～人生の上手な終い方～』
柏木 哲夫さん (淀川キリスト教病院理事長)

死は特別なものではなく、日常の延長線上にあるもの。人は死に臨むとき何を考え、何を思うのか。多くの患者さんを見送ってきた経験をもとに、私たちが悔いのない人生を送るためのヒントとは？



主催：高槻市

後援：高槻地区人権推進員企業連絡会、三島人権擁護委員協議会高槻地区委員会

企画・運営・問合せ先：一般社団法人高槻市人権まちづくり協会(☎ 072-647-7825)